

富士山の火山活動解説資料（平成 23 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

15 日 22 時 31 分に静岡県東部（富士山の南部付近）を震源とするマグニチュード¹⁾ 6.4 の地震が発生しましたが、その後、余震活動は徐々に低下してきています。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはありません。火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

萩原（富士山山頂の東南東 18km）に設置してある遠望カメラでは、山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2※、図 3※）

15 日 22 時 31 分に山頂の南南西約 5 km、深さ 14km を震源とする静岡県東部の地震（マグニチュード 6.4）が発生し、静岡県富士宮市で最大震度 6 強を観測しました。その後、その震源から山頂直下付近にかけて地震が増加しましたが、地震数は順調に減少しつつあり、余震活動とみられます。

深さ 15km 付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況でした。

火山性微動や浅部の低周波地震は観測されませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがあります。



図 1 富士山 山頂部の状況（3 月 29 日 萩原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 4 月分）は平成 23 年 5 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

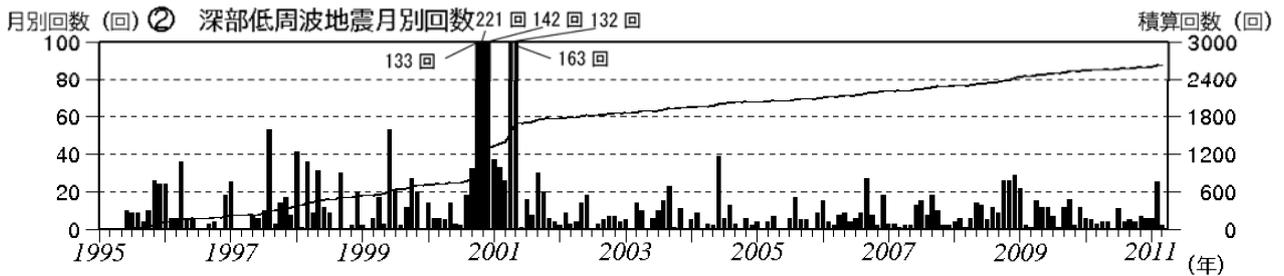
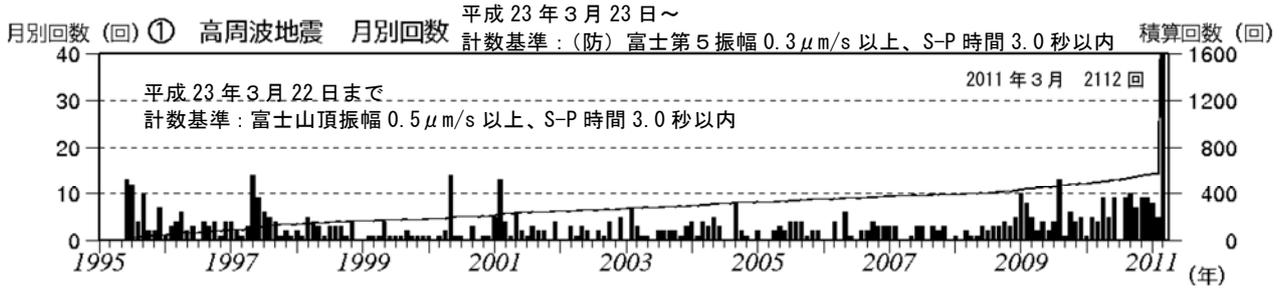


図 2 ※ 富士山 月別地震回数 (1995 年 6 月～2011 年 3 月)
(防)：独立行政法人防災科学技術研究所

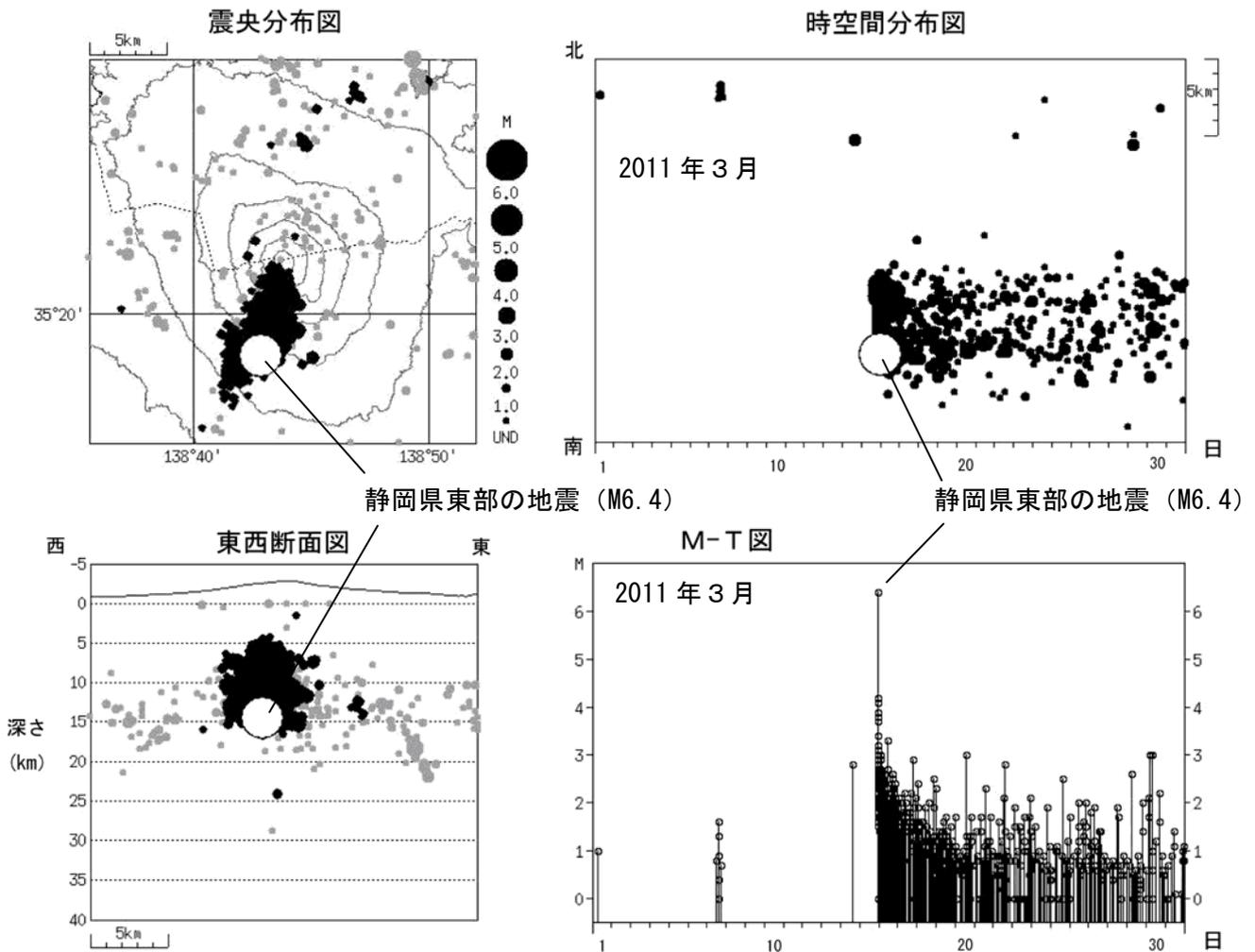


図 3 ※ 富士山 広域ネットによる山体・周辺の地震活動 (1999 年 10 月 1 日～2011 年 3 月 31 日)
●：1999 年 10 月 1 日～2011 年 2 月 28 日 ●：2011 年 3 月 1 日～3 月 31 日

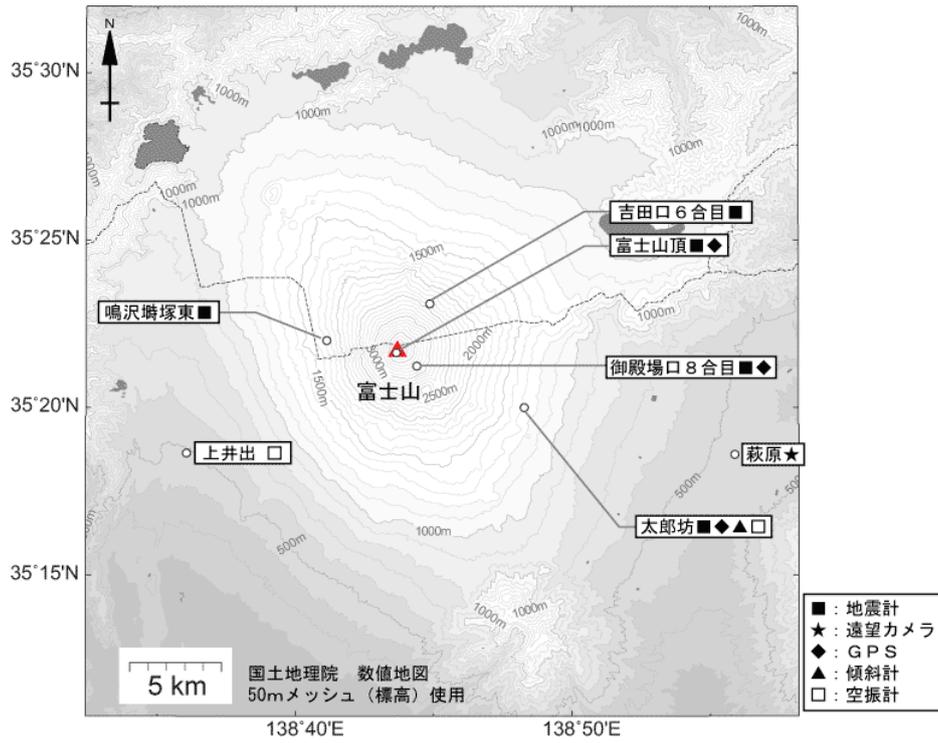


図4 富士山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
運用開始前の観測点も含まれます。